

議会報告会&ミルク Café

議会報告用資料



3月予算審査特別委員会で質疑に臨む

令和8年7月28日（火） 午後7時00分～ 交流センター

令和8年7月29日（水） 午後7時00分～ しるべつと

主催 中標津町議会

次 第

1. 開 会 の 辞……………議会運営委員会委員長 江 口 智 子
2. 主 催 者 挨 拶……………議長 後 藤 一 男
3. 議員自己紹介……………議会報告会 & ミルク Café参加議員一覧参照
4. 議 会 報 告…………… 3 ページからの資料で報告します
5. 移 動…………… アナウンスがあります
6. ミルク Café…………… 議員とおしゃべりしましょう！
(進行：議会運営委員会委員長 江 口 智 子)
7. 閉 会 の 挨 拶……………副議長 松 村 康 弘
8. 閉 会 の 辞……………議会運営委員会委員長 江 口 智 子

お知らせ

- ・ 議会だよりのバックナンバーを受付横に置いてありますので、ご自由にお持ち帰りください。(ホームページでもご覧になれます)
- ・ アンケートのご回答にご協力をお願いいたします。(出入口受付回収箱へ)
【回答用紙を持ち帰り QR コードからの回答も可能です。(回答期限 7/31)】

議会報告会 & ミルクCafé 参加議員一覧

議席	氏名	期数	現所属	議席	氏名	期数	現所属
1	たけだ かいと 武田 開人 ミルクCafé③	1	 総務経済	9	まつの みやこ 松野 美哉子 ミルクCafé⑦	2	 総務経済
2	あべ さき 阿部 沙希 ミルクCafé①	1	 文教厚生	10	むねかた かずき 宗形 一輝 ミルクCafé④	3	 文教厚生 ○議運
3	くりす ようすけ 栗栖 陽介 ミルクCafé②	1	 文教厚生 広報	11	えぐち ともし 江口 智子 ミルクCafé②	3	 総務経済 ◎議運
4	ながぶち ゆたか 長渕 豊 ミルクCafé④	1	 総務経済 広報	12	たかはしよしさだ 高橋 善貞 ミルクCafé⑤	3	 文教厚生
5	ひらやまひろみ 平山 光生 ミルクCafé⑤	2	 ◎総務経済 議運	13	さの やなみ 佐野 弥奈美 ミルクCafé①	5	 総務経済
6	あべ たかひろ 阿部 隆弘 ミルクCafé⑥	2	 ○総務経済 ◎広報	14	ごとう かずお 後藤 一男 ミルクCafé フリー	6	 議長
7	やまぐちたけひこ 山口 雄彦 ミルクCafé⑥	2	 ◎文教厚生 議運	15	まつむらやすひろ 松村 康弘 ミルクCafé⑦	9	 副議長 文教厚生 議運 広報
8	さくま こ 佐久間 ふみ子 ミルクCafé③	2	 ○文教厚生 ○広報				

◎委員長 ○副委員長 ※議席番号順

介護・看護人材確保に向けた要望書受領

本年3月2日に、「介護・看護人材確保の推進を考える有志の会」様より町長宛と町議会議長宛に「介護・看護人材確保に向けた要望書」が提出されました。

家族の介護のため離職を余儀なくされ、そのことで企業の労働力不足を招き、また親の介護のために町外へ転出する世帯が増加し、中標津町において人口減少に拍車がかかり、地域経済に重大な影響をあたえるので町として対策を講じることを要望するものです。



要望事項 1 町の支援施策における連帯保証人要件の抜本的見直し

要望事項 2 人材定着を最優先とした戦略的投資の実行

議会全体で取り組むべき内容であるため2合同常任委員会を開催

要望事項 1 総務経済常任委員会で調査 → 調査結果を文教厚生常任委員会へ共有

要望事項 2 文教厚生常任委員会で調査 ↩

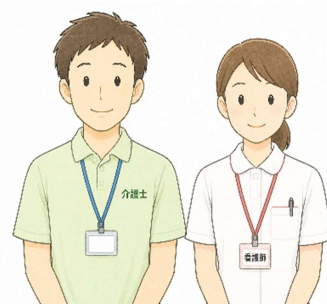


これまでの文教厚生常任委員会での調査

昨年4月 介護保険事業者協議会との懇談会

昨年9月 定例会 委員会代表質問

- ・介護職員の就労支援
- ・介護用機器の導入支援
- ・外国人材の受入れ体制 などについて質問



現在の状況（町民生活部）

要望事項 1：町の様々な貸付金条例で連帯保証人が2名と定められていることもあり、町として1名で貸付可能か統一的な見解を示すため関係部署と慎重に協議を実施。

要望事項 2：北見市では、中国からの留学生を介護福祉士として育てるため、専門学校の学費を自治体が支援しています。卒業後は介護施設で働く約束をする仕組みで、現在は途中で辞めた人はいません。本町でも同様の制度を研究し、介護人材不足解消につながるよう検討しています。

議会運営委員会

みなさんの議会基本条例制定に向けて

議会基本条例は、議会がどのような役割を果たし、どのように活動するのかを定めた「議会の基本ルール」です。

町の最高規範である自治基本条例に基づき制定するもので、議員の責務や町民との情報共有、政策づくりへの取り組みなどを明確にし、町民の声を議会運営に反映させることで、より開かれた信頼される議会を目指すための条例です。

当議会は、令和6年の改選時から議員定数削減（18人⇒15人）及び議員報酬増（20万円から25万5千円）としましたが、委員会体制の充実などにより、個々の議員活動量は大きく増加しています。言い換えれば、町民の声を町政により良く反映させる体制づくりを進めてきたということで、常任委員会の調査研究の成果をもって行う「委員会代表質問」などを通じて政策提言を行っています。

こうした議会活性化の取り組みを議会基本条例としてルール化することで、将来、議員が代替わりしても、その活動原則は引き継がれていきます。

また、議会基本条例は時代に即した生きた条例とするため、定期的な見直しを図る予定です。制定前には、町民の皆さんからのご意見をいただきたいと考えていますので、今しばらくお待ちください。



議会モニターについて

議会モニターは、令和7年6月に第5期目を迎え、現在は8名の議会モニターが活動されています。8名のうち6名が再任で、本会議や委員会を傍聴された意見のほか、議会報告会などにも積極的に参加いただき、率直なご意見をお寄せいただいています。

議会運営委員会では、当町議会のためにこれは良い意見だと判断したものは、積極的に取り入れています。

本日後半に行うミルク Caféでは、「カフェなので飲み物を提供した方が良いのでは？」との意見を参考に、ミルクとお茶を用意しました。

また、5月に東武サウスヒルズで開催した「ミルク Caféまちかどキャラバン」では、お子様連れの方にもお立ち寄りいただけるよう、ぬり絵や折り紙ができる「キッズコーナー」を設け、ご好評をいただきました。

これからも議会モニターのみなさんには、議会に最も近い存在として、たくさんのご意見をいただけることを期待しています。



総務経済常任委員会・文教厚生常任委員会

みんなの声 政策提案につながる！

～委員会代表質問の取り組みを報告します～



私たちは、町民のみなさんの声や、
委員会での意見交換、視察研修での学びをもとに
調査・研究を重ね、みんなで委員会代表質問をつくります。

みんなの声からの委員会代表質問までの流れ

1 みんなの声

町民の声、子どもの声、
現場での気づき

2 委員会で話し合い

課題を整理し、
調査研究を重ねる

3 委員会代表質問で提案

町に質問・提案し、
改善や実現をめざす



総務経済常任委員会報告

① 野犬対策 ～野犬対策と犬猫保護のあり方～

令和7年3月定例会にて実施



代表質問の項目	主な前進	今後の課題
●動物専門の知見活用 ●保護・譲渡における必要経費の整理 ●ふるさと納税使途の見直し	●後期計画に野犬・畜犬等対策強化を明文化 ●犬報告フォームを新設 ●使途見直し進行中 ●北海道への意見書を提出	●専門家活用の具体化 ●町と愛護団体・里親の負担基準の整理 ●実際に使える使途か確認 ●北海道の対応確認

② ふるさと納税 ～事業の更なる展開と支援体制強化～

令和7年6月定例会にて実施



代表質問の項目	主な前進	今後の課題
●一時保管体制への支援 ●既存事業者も使いやすい補助金制度への見直し ●C F型ふるさと納税の活用 ●返礼品開発体制の強化	●出荷発注調整で在庫切れを抑制 ●提案募集型・プロモーション型の検討を明確化 ●返礼品が拡大 ●民設民営アンテナショップ開店 ●現地決済型旅先納税の返礼品化を予算化	●支援制度の見直しや複数制度連携の有無 ●商品化後の寄附状況の確認 ●町外店舗の情報収集 ●複数事業所によるオリジナル返礼品づくり

③ 人口減少対策 ～中標津モデルを活かした人口減少対策～

令和7年9月定例会にて実施

いい所はたくさんあるがア
ピール足りない。道の駅
がほしい。空港を拠点とし
た新たな観光が必要。遊
べる場所が欲しい！！

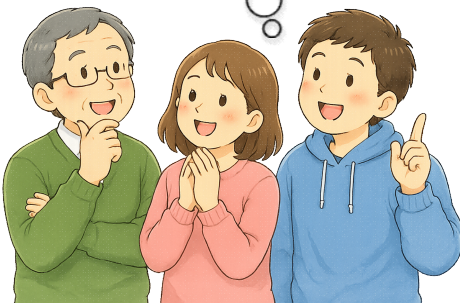


代表質問の項目	主な前進	今後の課題
●道の駅的機能を含む販売拠点・交流拠点整備 ●ICT人材活用 ●住宅整備施策 ●移住・関係人口向け情報発信	●複合型交流施設の整備検討を計画に明記・調査の予算化 ●令和8年度主要施策で調査を位置付け ●HPリニューアル予算化 ●SNSで魅力発信 ●ふるさと回帰支援センターへ登録	●6次産業化や働く場創出が具体的に盛り込まれるか確認 ●どの業務をデジタル化し雇用につなげるか確認 ●補助金の活用条件の緩和 ●誰に何を届けるかという情報発信戦略

④ 防災 ～町民の避難行動と広域避難を見据えた災害対応力の強化

令和7年12月定例会にて実施

災害情報が分かりにくい
…。災害に強い道の駅・
きれいな公衆トイレ
がほしい…。



代表質問の項目	主な前進	今後の課題
●防災DX・情報の一元化 ●マイ・タイムラインを学校教育へ導入 ●自主防災組織の再構築 ●災害時トイレ整備（冬期・バリアフリー） ●事前復興計画と広域連携の強化	●防災協定先一覧をホームページに独自掲載 ●学校現場とも協議し研究 ●自主防災組織の課題認識を共有 ●企業団体へもPR ●民間との連携も検討 ●強靱化計画に事前復興計画の検討を明記 ●広域連携に関する合同協議開催への働きかけを実施	●防災情報の一元化、防災備蓄情報の更新 ●研究状況の確認、屋外拡声装置を活用した連携訓練の実施 ●町内会以外の組織編制PR状況 ●協定・民間連携 ●検討状況の確認 ●広域連携の実働づくり

⑤ 多文化共生 ～多文化共生における生活支援体制の強化～

令和8年3月定例会にて実施

困りごとをどこに聞きに行けばいいかわかりづらい…。外国人と気軽に触れ合える場がほしい…。



代表質問の項目	主な前進	今後の課題
●生活上・就労上の困り事の把握 ●外国人住民を地域づくりのパートナーとして位置付け ●多言語・やさしい日本語の環境整備 ●相談窓口の見える化・誘導案内	●事例の把握や庁内共有に努める ●定住や地域参画につながる取組推進 ●順次整備、防災教室、児童生徒への学習支援を実施 ●庁内の連携体制の強化 ●できる範囲で対応	●相談件数や分野整理、関係部署共有 ●具体事業や事業所理解の醸成 ●日本語学校・専門学校以外の外国人労働者支援 ●利用につながる案内板や表示



ふるさと納税を視察(中札内村)



防災を視察(むかわ町)



動物保護ボランティア団体との懇談会



防災を視察(神奈川県葉山町)



野犬対策を視察(茨城県笠間市)



人口減少対策を視察
(東京都ふるさと回帰支援センター)

多文化共生を視察
(ひがし北海道日本語学校)

文教厚生常任委員会報告

① 介護人材の確保 ～介護事業の持続可能な体制強化に向けた取り組みを～

令和7年9月定例会にて実施

将来、介護が受けられるか不安…。家族がデイサービスを利用する回数が減ってしまった。



代表質問の項目	主な前進	今後の課題
●若年層・子育て世代への就労支援 ●介護用機器導入の補助支援 ●外国人介護人材の受入れ ●介護予防・軽度者支援	●町内保育施設での待機児童の発生はない ●国の補助制度の活用 ●今年度より受入れに必要な経費を支援 ●各サロン、老人クラブと合同で介護予防の仕組みづくり	●事業所内保育所のニーズの把握 ●資格取得・更新に係る旅費の補助 ●就労環境の改善・整備 ●運動習慣化促進事業の開催会場への交通手段の対応

② 子育て支援事業 ～町民に望まれる子育て支援環境の整備を～

令和7年12月定例会にて実施

子どもを産み育てていく環境の見直しをしてほしい。子どもの発達・発育の早期発見・早期支援体制整備してほしい。小児医療費の無償化を！！



代表質問の項目	主な前進	今後の課題
●5歳児健診の導入 ●小児医療費助成制度の拡充 ●ショートステイ制度 ●ファミリーサポート事業の充実	●令和10年を目標に進めていく ●子育て支援策検討 ●一時預かり事業ファミリーサポートセンター事業などの認知・周知を推進 ●宿泊を伴うショートステイ等の相談実績なし	●個別支援・相談対応・情報共有など、就学前まで切れ目のない支援 ●保健師・保育士等の人員強化 ●義務教育期間の医療費無償化

③ ICT教育 ～ICT教育のさらなる推進と環境整備を～

本町のICT教育の取組状況は？ネットが途切れる…。



令和8年3月定例会にて実施

代表質問の項目	主な前進	今後の課題
● 1人1台端末の活用 ● 教員のICT活用能力向上 ● IT企業、専門業者との連携 ● 校内通信環境	● 学習支援ソフトの活用により協働的な学びが定着 ● 外部の研修会への参加・近隣校から講師を迎えた研修会の開催 ● IT企業専門業者の支援体制・ICT支援員の配置 ● 通信環境の改善	● 教科の学びを深める効果的活用へ学びの質の向上を図る ● 教員(各学校)のニーズに応じた研修の機会を増やしICT活用力を高める ● ICT企業と連携した支援体制の構築が必要



ICT教育を視察(愛媛県四国中央市)



四国中央市議会議事堂



子育て支援を視察(香川県宇多津町)



介護保険事業者協議会との懇談会



ICT教育を視察(北見市立西小学校)



ICT教育を視察(丸山小学校)



子育て支援を視察(置戸町)

／／ みんなの声が、まちを変える力になる！ ／／



子どもから大人まで、**町民のみなさんの小さな声**が、**私たちの気づき**となり、話し合いを通して「**政策提案＝委員会代表質問**」につながりました。これからも、みなさんの声をしっかり受け止め、行動していきます。

みなさんの声をお聴かせください！

ミルク Café まちかど
キャラバン・
議会報告会等に
参加しよう！



ホームページ
はこちら！



手紙やメールで
議会に意見を
送ろう！



声はこちら！



子どもの声も
大歓迎！未来の
中標津を一緒につ
くろう！



YouTube
チャンネル！



お問い合わせ先：〒086-1197 中標津町丸山2丁目22番地

中標津町議会事務局 電話 0153-74-0912 (直通) ・ e-mail gikai@nakashibetsu.jp